

ヤマハC3X espresso体験レポート

“表情豊かに”を叶えるピアノで表現する喜びを実感！

取材・文＝長井進之介
写真＝ヒダキトモコ

豊かな音楽性を求める演奏者、とりわけ指導者や学習者の素晴らしいパートナーとなるべく誕生したヤマハの新しいグランドピアノ「C3X espresso」（以下「espresso」）。「CX Series」（以下CX）をベースに、プレミアムピアノ「SX Series」（以下「SX」）のエッセンスが融合した待望の新機種だ。

音色の美しさと響きを感じる感性を大切にした指導で、数多くの生徒の表現力を育てる二本柳奈津子先生に、「espresso」の音色と表現力を体験していただいた。



「C3X espresso」（手前）と「S3X」（奥）



二本柳奈津子先生

京都女子大学教育学科卒業後、バスティン・メソッドを学ぶ。感性と耳を育てる指導により、門下生が各種コンクールで多数上位入賞。二本柳奈津子ピアノ教室主宰、PTNA北大阪ステーション代表、千里バスティン研究会代表、多数のコンクールで審査員を務める。

演奏者の想いに応えるピアノを探して

もともと私は「SX」、そしてその前身である「S Series」（以下「S」）の密度の高い音が大好きで、現在も「S6」を愛奏し、レッスンにも使用しています。購入時には色々なメーカーのピアノと弾き比べたのですが、“こう弾きたい”という想いに応えてくれる点に強く惹かれて。昨今はコンクールを受ける生徒さんが増えていますが、最近のコンクールはもう技術の優劣というレベルはとっくに超えていて、いかに多彩な表現力や音色をもっているかというところを見られるようになりまし

た。私のレッスンでも、多彩な表現を大切にして指導しています。

多彩な演奏表現の指導や練習には、演奏者の想いに応えて、様々なタッチに反応してくれるピアノが不可欠。レッスンで「S」を弾いてもらうことで、これだけの音色のグラデーションを表現できるんだと実感してもらうことができ、“自宅でも表現力豊かなピアノを持ちたい”という生徒さんが増えました。ただ、弾いてもらっている「S」や「SX」はなかなか手が届かないということがあり、「CX」との間くらいの機種があれば…とずっと思っていたところだったのです。多彩な音色で演奏者の想いに応えてくれるピアノが登場したことをとてもうれしく思っています。

生徒が成長する秘訣

「espresso」を弾かせていただけてまず感じたことは、音の伸びのよさです。ピアノは“減衰楽器”ですが、いい楽器であれば、音が減衰しつつも、響きを感じ続けることができます。そういう楽器であれば無駄な力をいれることなく弾くことができ、正しいテクニックを身につけることができます。「espresso」はまさにそれが可能なピアノですね。正しく打鍵すればあとは美しい音色を響かせてくれますから。こういう楽器で日々の練習やレッスンができると、生徒さんたちの成長スピードが本当に格段に早くなるのです。

また、低音域の鳴りのよさも特徴だと思いました。広い部屋で、サイズの大きなピアノを弾いているような感覚が味わえます。演奏会やコンクールではホールの大きなピアノを弾くので、常に本番の感覚を味わいながら演奏できるのも魅力的ですね。

多彩な表現が可能

そして何より、音質、響きのよさが、名前に偽りなく“espresso=表情豊か”な演奏を生み出してくれるように感じました。作曲家たちは常に五感を研ぎ澄ませて、自然や芸術、そして感情など、様々なインスピレーションから素晴らしい作品を書いていますよね。特にベートーヴェンは散歩が大好きで、散歩中にもたくさんのアイデアを書き留めていたくらい。そうやって作り出された作品を“閉ざされた”耳で演奏しても、魅力を伝えることはできませんよね。いい音で、なおかつ感じたことが音として届けられるピアノで演奏することは、表現す



「想いに応えてくれるから、アイデアが湧いてくる」と二本柳先生

ることの喜びをあらためて実感できることにつながります。クレッシェンド一つとっても、光が増すようなものもあれば、苦しみが強まるようなものもありますよね。書かれた発想記号だけでは情報が限られているので、裏側を読み取る力が求められます。そしてせっかくそれを感じても、反応の悪い楽器で弾いてはせっかくの表現も台無しになってしまいます。その点からいっても「espresso」は、表現する喜びをもっと味わえる楽器だと感じました。

実は先日、生徒が「espresso」お披露目コンサートに出演して弾かせていただくことになり、その際の選曲を楽器の音色を聴いてから決めたのですが、それがとても楽しくて。やわらかい響きの中にもクリアな粒立ちのよさがあるので、高音域が美しいリストの《エステ荘の噴水》だったり、喜怒哀楽を出せるモーツァルトの幻想曲、多様な色彩感を出せるのでドビュッシーの前奏曲や《喜びの鳥》などに決まりましたが、コンサート当日もピアノの音が上から降り注いでくるような感覚でした。音の輝き、密度、そして表現力の豊かさを求める方には、ぜひ体験していただきたいピアノです。



ヤマハ グランドピアノ
C3X espresso
3,630,000 円（税込）



お問い合わせ先：
株式会社ヤマハミュージック
ジャパン ピアノご相談窓口
tel. 0570-003-808